

環境共生型公共賃貸住宅における中高層住棟等の技術手法に関する研究

担当部科 環境科学部 居住環境科、都市防災科、安全科学科

研究の目的

本研究は、北海道環境共生型公共賃貸住宅及び
省エネ改修を行う公営住宅を主たる対象に、様々
な住棟形態に対して、積雪寒冷地にふさわしく、
低廉かつ維持管理性に優れた環境負荷低減技
術・設計手法を構築・提案することを主な目的と
します。

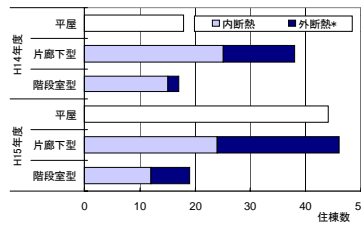
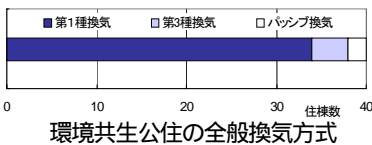
研究のフロー



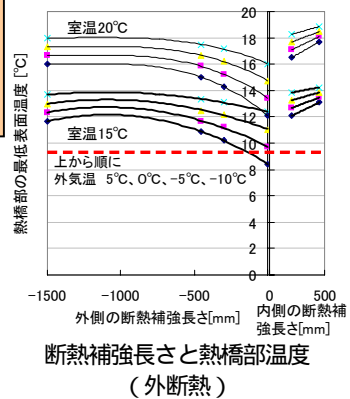
研究の概要

- 本年度は以下の検討を行いました。
- 環境共生公住の建築属性等の概略的把握
 - 各種断熱手法、換気手法が導入された公営住宅等の実態調査と技術的検討
 - 既存公営住宅の断熱・換気改修に関する実態調査
 - 新たな断熱手法、換気手法構築のための基礎的検討

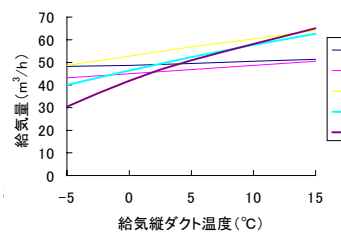
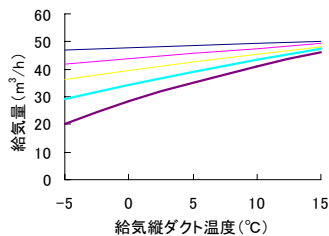
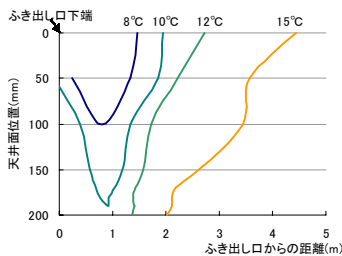
環境共生公住の建築属性等の概略的把握



断熱計画の検討

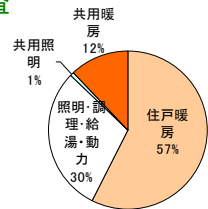
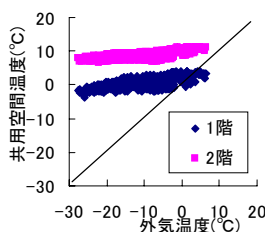


換気技術の検討

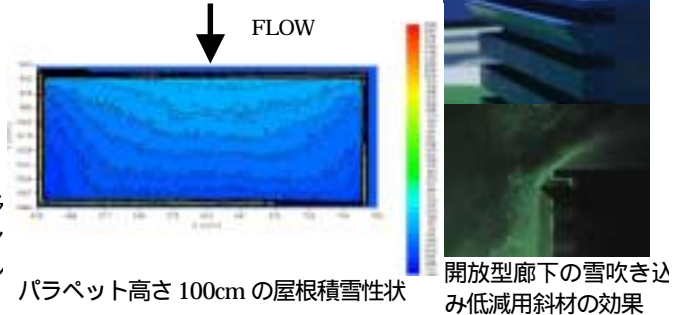


5階建て住棟のパッシブ換気給気バランス

各種換気手法、断熱手法が導入された公営住宅等の実態調査



風雪障害防止に関する検討



活用方法・成果 北海道環境共生型公共賃貸住宅の整備対応マニュアルに反映させ、北海道内で供給される全ての公共賃貸住宅について、自然環境を守り、良好な自然の生態系を次世代に引き継ぐことが可能な環境負荷低減に配慮した居住環境の整備と、地域特性を活かし多様なニーズに対応した良好な公共賃貸住宅を供給します。